

<言語活動> 教科等の特質を踏まえた指導の充実

教科	教科等の特質を踏まえた言語活動	教科	教科等の特質を踏まえた言語活動
国語	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の各領域では、身に付けさせたい力を明確にしながら日常生活に必要とされる記録、説明、報告、紹介、感想、討論など学習目標に適切な言語活動を選択して取り組む。 ○課題に応じて必要な文章や資料等を取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、相互に思考を深めたりまとめたりする。 ○「読むこと」においては、指導事項に示す読むことの内容を児童に確実に身に付けるため、児童自身にとっての読む目的を明確にして本や文章を選んだり、目的に応じて内容を的確にとらえたり、自分の考えをまとめて交流したりする。 ○シリーズで読む、好きな作品を見つけて読む、目的に応じて本や文章を比べて読むといったことが可能となるよう、学校図書館を充実させる	図工	○表現や鑑賞の活動を通して、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う ○表現においては、材料や場所の特徴、表したいことや用途などについて、考えたことを伝え合ったり、形や色、材料の感じなどを生かして表現したりする。 ○鑑賞においては、感じたことや思ったことを話したり、友人と語り合ったりしながら、材料による感じの違い、表し方の変化などをとらえ、身近にある作品や親しみのある作品などのよさや美しさなどを感じ取る。
社会	○学習や生活の基盤となる知識・技能を習得させるために、作業的・体験的な学習や課題解決的な学習を一層充実させ、それらを表現する。 ○知識・技能を活用して観察・調査したり、各種の資料から必要な情報を集めて読み取ったりしたことを的確に記録し、比較・関連付け・総合しながら再構成する。 ○考えやことを自分の言葉でまとめ伝え合うことにより、互いの考えを深めていく。	家庭	○生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解するため、実習や観察などの実践的・体験的な活動を行い、レポートの作成や考察、思考したことを発表する。 ○自分の生活における課題を解決するため、インタビューや体験を通して課題をつかませたり、比較実験や調べる活動を行い、その結果から分かったことや考えたことを図表やグラフで表現する。
算数	○数学的な思考力、判断力、表現力等を育成するため、見通しをもち根拠を明らかにし筋道を立てて考える。（自ら納得したり、他者を説得したりする） ○言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解するとともに、それらを適切に用いて、課題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し合ったりする ○帰納的な考え方や類比的な考え方、予測や推測を検証するための演繹的な考え方をを用いるために必要な言語力を身に付け活用していく。 ○根拠をもとにして、ある事柄が「正しい」「正しくない」ということを明確に説明する。	体育	○「他者とのコミュニケーションの育成」 運動領域では、身体表現や、ゲーム場面での意思疎通などの集団的活動で互いに励まし合ったり、相手チームの健闘を称えたりして、協力して学び合う活動をする。 保健領域では、実習や実験などを行った際の観察や体験を基に話し合いを行い、考察し、身近な生活における課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどの活動をする。 ○「論理的思考力の育成」 運動領域では、資料を基に練習方法や作戦を考えて教え合ったり、その果や課題について話し合ったり、学習カードにまとめたりする活動をする 保健領域では、健康に関わる概念や原則を基に、自分の生活と比較したり身近な生活との関係を見付けたりしたことを説明するなどの活動をする。
理科	○課題解決の過程において科学的な言葉や概念を使用して考え表現する。 ○予想や仮説を立てる場面では、問題に対する考えを記述したり、児童相互の話し合いを適宜行うことにより、条件に着目したり視点を明確にしたりして自らの考えを顕在化させる。 ○結果を整理し、考察し、結論をまとめる場面では、観察、実験の結果を表やグラフに整理し、予想や仮説と関係付けながら考察を言語化し、表現する。	道徳	○資料や体験などから感じたこと、考えたことをまとめ、発表し合ったり、討論や討議などにより意見の異なる人の考えに接し、協同的に議論したり、考えをまとめたりする。 ○自分自身と集団や社会との関わりについての考えを深めるため、公正、社会正義などの道徳的諸価値に関わる様々な課題について討論等を行い考察する。
生活	○互いのことを理解し合ったり、心を通わせたりして関わることの楽しさが分かり、身の回りの多様な人々と交流することができるように、自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う。 ○具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えさせるため、見付ける、比べる、例えるなどの多様な学習活動をする。	外国語	○外国語でのコミュニケーションを通して、その楽しさを体験し、言語を用いてコミュニケーションを図る。 ○体験的に外国語を聞いたり、話したりすることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむとともに、日本語との違いを知ることで言葉の面白さや豊かさ等に気付く。
音楽	○鑑賞の活動において、感じ取ったことを言葉で表すなどの活動を位置付け、楽曲や演奏の楽しさに気付いたり、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたり理解したりする ○合唱や合奏、グループによる音楽づくりの活動において、どのように表すかについて思いや意図を、伝え合ったり、他者の考えに共感したりする。 ○歌唱表現において、歌詞の内容や言葉の特徴を生かして歌ったり、日本語のもつ美しさを味わったりする。	総合	○多様な情報の入手、他者の尊重と自らの役割の自覚、交流の広がりや深まりの実現に向けて、他者と協同して取り組む。 ○体験したことや収集した情報を整理したり、分析したりして思考する活動へと高めるとともに、他者に伝えたりまとめたりして自分の考えを明らかにする。
		特活	○協同の目標の下に行う同年齢や異学年、幼児、高齢者などとの異年齢による言葉の交流活動を効果的に展開し、話し合い活動を通して相手意識をもって接する活動や、自分や他者の多様な考えをよりよい方向へまとめていく。 ○実生活や実社会で役立つ言語に関する能力を育成するため、よりよいあいさつや言葉遣いの在り方について考え、それらを啓発する活動、地域の方々との交流活動を重視する。 ○実践したことや体験したことを自分の言葉でまとめたり、発表し合ったり、することで自己の生き方についての考えを深める。

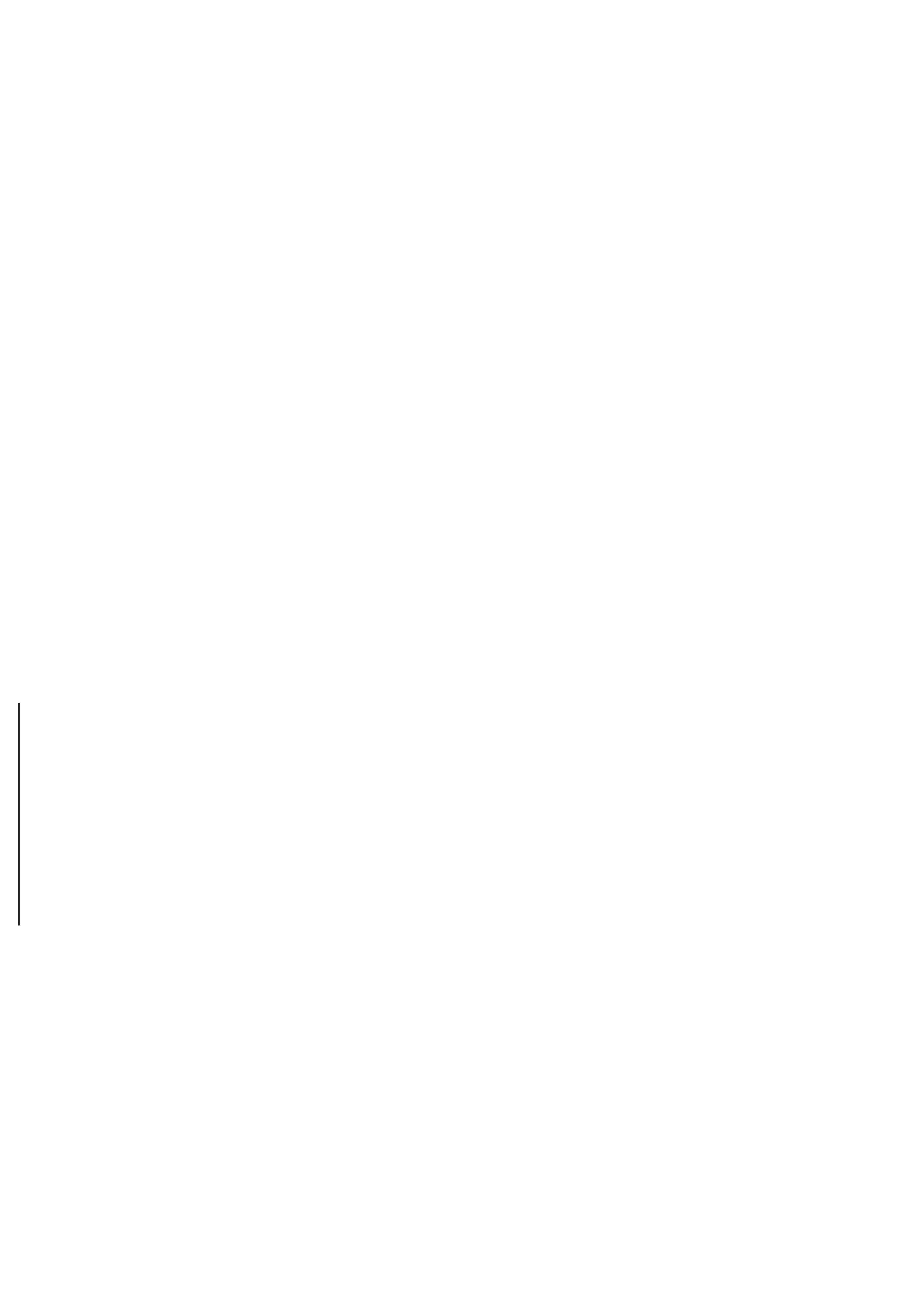
発達段階における系統性		
低学年	中学年	高学年
○主語と述語（例えば、性質、状態、関係など）を明確にして表現する。 ○比較の視点（例えば、大きさ、色、形、位置など）を明確にして表現する。 ○判断と理由の関係を明確にして表現する。 ○時系列（例えば、まず、次に、そして、など）で表現できる。 ○互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う。 ○書いた物を読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合う。 ○文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合う。	○判断と根拠、結果と原因の関係を明確にして表現する。 ○条件文（例えば、「もし、○○ならば、△△である」）で表現する。 ○科学用語や概念を用いて表現する。 ○互いの考えの共通点や相違点を整理し、司会者や提案者などの役割を果たしながら進行に沿って話し合う。 ○書いた物を発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合う。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く。	○演繹法や帰納法などの論理を用いて表現する。 ○規則性やきまりなどを用いて表現する。 ○互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う。 ○書いた物を発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合う。 ○本や文章などを読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。

演繹:一般的な前提から個別的な結論を得る方法
 例)人は必ず死ぬ→だから私もいつかは死ぬ

帰納:個別的な事柄から一般的な規則を見出そうとする方法
 例)Aのネコはネズミを追いかける。Bのネコもネズミを追いかける。→だからネコという生き物はネズミを追いかける生き物だ。

発達段階における系統性		
低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ○主語と述語(例えば、性質、状態、関係など)を明確にして表現する。 ○比較の視点(例えば、大きさ、色、形、位置など)を明確にして表現する。 ○判断と理由の関係を明確にして表現する。 ○時系列(例えば、まず、次に、そして、など)で表現できる。 ○互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う。 ○書いた物を読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合う。 ○文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○判断と根拠、結果と原因の関係を明確にして表現する。 ○条件文(例えば、「もし、○○○ならば、△△△である)で表現する。 ○科学用語や概念を用いて表現する。 ○互いの考えの共通点や相違点を整理し、司会者や提案者などの役割を果たしながら進行に沿って話し合う。 ○書いた物を発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合う。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○演繹法や帰納法などの論理を用いて表現する。 ○規則性やきまりなどを用いて表現する。 ○互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う。 ○書いた物を発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合う。 ○本や文章などを読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。

社会	<ul style="list-style-type: none"> ○学習や生活の基盤となる知識・技能を習得させるために、作業的・体験的な学習や課題解決的な学習を一層充実させ、それらを表現する。 ○知識・技能を活用して観察・調査したり、各種の資料から必要な情報を集めて読み取ったりしたことを的確に記録し、比較・関連付け・総合しながら再構成する。 ○考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解するため、実習や観察などの実践的・体験的な活動を行い、レポートの作成や考察、思考したことを発表する。 ○自分の生活における課題を解決するため、インタビューや体験を通して課題をつかませたり、比較実験や調べる活動を行い、その結果から分かったことや考えたことを図表やグラフ、言葉にまとめ、それを発表し合い活用の仕方を考える。
----	--	----	--



|